

平成29年12月27日(水)  
国土交通省関東地方整備局  
道 路 部

— 記者発表資料 —



## 日本風景街道 関東ブロック 「関東優秀活動賞」4ルート(団体)を選定

このたび、第5回目となる日本風景街道『関東優秀活動賞』の選定を行いました。選定にあたっては、「風景街道の活動表彰選定等に関する委員会(委員長:元横浜商科大学 貿易・観光学科 小濱哲教授)」により、地域活性化への寄与、美しい国土景観の形成、観光振興への寄与を各部門毎に審査され、活動地域への貢献、他の模範となる優秀な活動を行った4ルート(団体)を選定いたしました。

⇒(「日本風景街道」については【別添1】参照)

⇒(「風景街道の活動表彰選定等に関する委員会」は【別添2】参照)

⇒(「表彰活動の選定方法」は【別添3】参照)

### 《選定結果》

- 優秀賞〔地域活性化への寄与部門〕 『あさま しらね し が浅間・白根・志賀さわやか街道』(群馬県)
- 優秀賞〔地域活性化への寄与部門〕 『とうかいどう ふうけいかいどう東海道 風景街道』(神奈川県)
- 優秀賞〔美しい国土景観の形成部門〕 『みなみぼうそう はなうみかいどう南房総・花海街道』(千葉県)
- 優秀賞〔観光振興への寄与部門〕 『ちくまがわ はな さとやまふうけいかいどう千曲川・花の里山風景街道』(長野県)

⇒(各ルートの活動の詳細・選定理由は【別添4】参照)

※表彰式は後日、各地の活動地域にて行います。

### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、  
刀水クラブ・テレビ記者会、千葉県政記者会、神奈川県政記者クラブ、  
長野県庁会見場、長野市政記者クラブ、長野市政記者会、  
日本旅行記者クラブ、レジャー記者クラブ、東商記者クラブ

### 問い合わせ先

風景街道関東地方協議会 事務局(関東地方整備局 道路部 道路計画第二課)  
課長 こんどう すずむ 近藤 進 課長補佐 おだ がわ ゆたか 小田川 豊  
TEL.048-600-1342(直通)



# 日本風景街道について

## 日本風景街道とは・・・

国土文化の再興に向けて、文化資源の保存や保護、活用だけでなく、美しい国土景観の形成、地域活性化や観光振興を有機的につなぐものであり、道を舞台に多様な主体の協働により行われる取り組みです。

平成19年度から登録を開始し、全国で141ルート、うち関東管内では20ルートが登録されています。

ホームページアドレス <http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/>



**美しい国土  
景観の形成**  
自然景観の改善、歴史的  
まちなみの保全 等

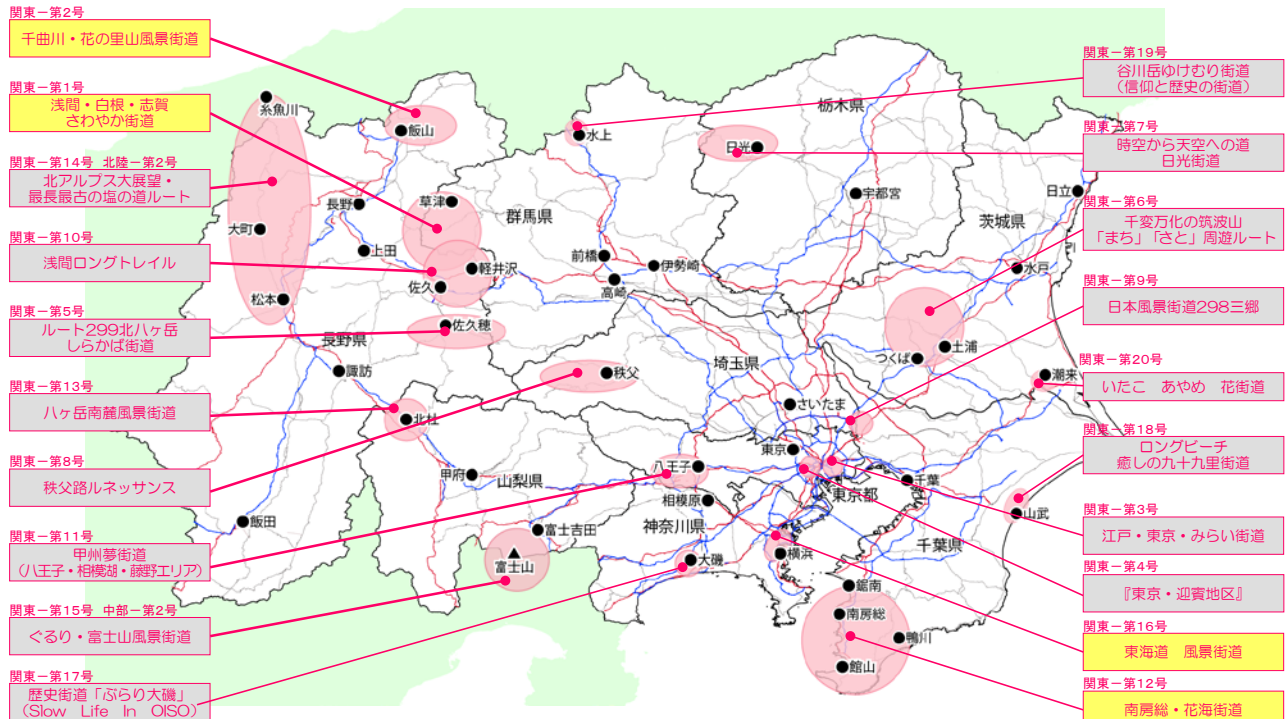
有機的につなぐ仕組み

**活動に応じて必要な組織**  
地域住民、NPO、町内会・  
自治会、企業、大学関係  
者、警察、地方公共団体  
(市町村等) など

道路の管理者

**観光振興へ  
の寄与**  
地域資源、活動の情報  
発信や来訪者を楽しませ  
る工夫 等

**地域活性化へ  
の寄与**  
地域の歴史、文化、伝統  
の継承や世代間交流の  
再生・促進 等

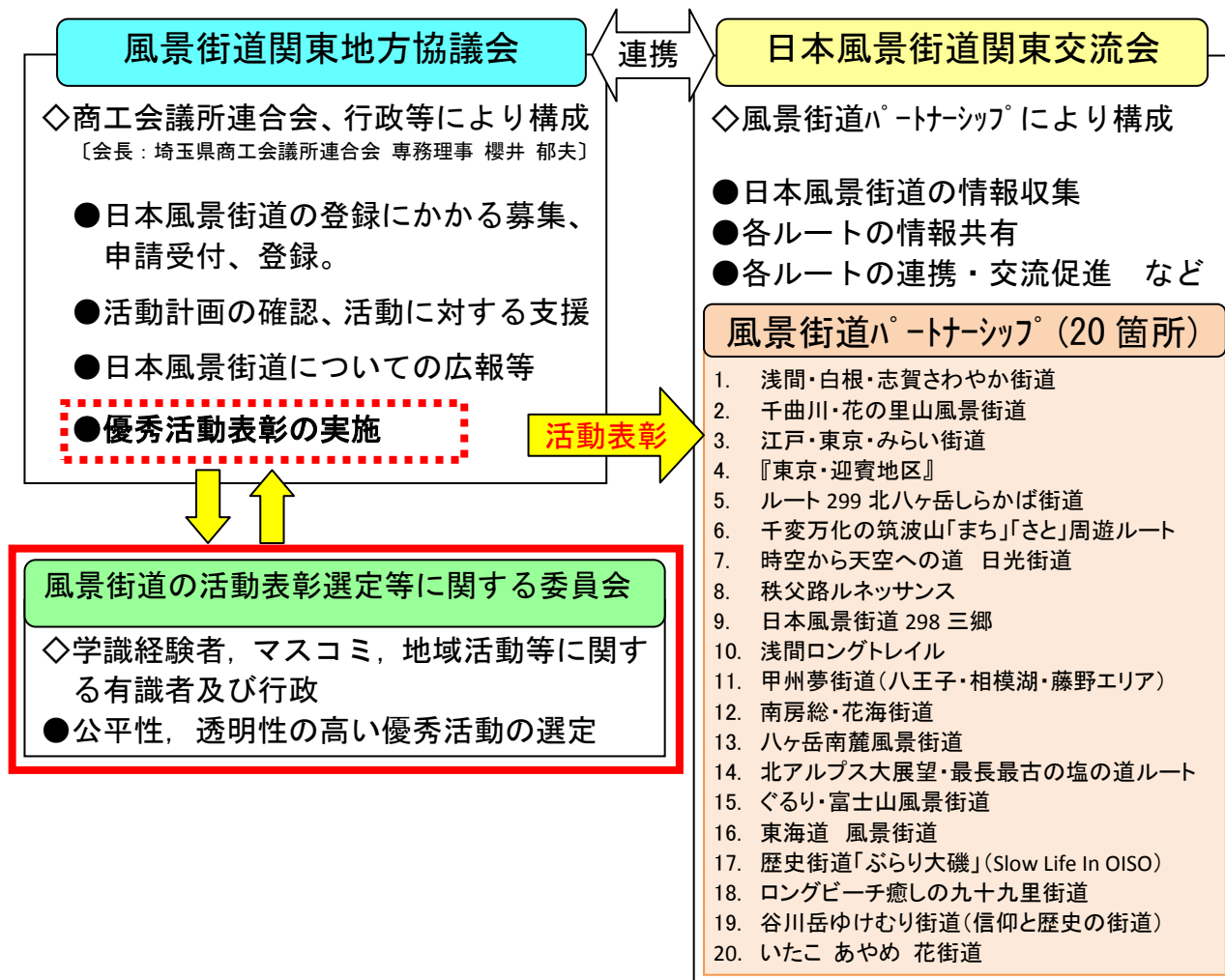


■日本風景街道関東ブロック概要図

今回選定した関東優秀活動賞のルート

## 風景街道の活動表彰選定等に関する委員会について

風景街道関東地方協議会では、各ルートで行われた活動の中で、創意工夫のもと地域の魅力を発展させ、その活動を他のルートのさらなる活動推進に繋げることを目的に、有用な取組に対し、表彰を行っております。



### 風景街道の活動表彰選定等に関する委員会 名簿

委員長	小濱 哲	元横浜商科大学 商学部 貿易・観光学科 教授
委員	福田 朋英	元JTB協定旅館ホテル連盟会長 元伊香保温泉観光振興協議会会長 伊香保温泉 老舗旅館「福一」社長
委員	松本 順子	道21世紀新聞・ルートプレス編集長 NPO法人 人と道研究会代表
委員	田村 知子	(株)JTBパブリッシング 月刊「ノジュール」編集部 編集長
委員	真下 敏明	関東建設青年会議会長 真下建設(株)代表取締役
委員	丹羽 克彦	国土交通省 関東地方整備局 道路部長

## 表彰活動の選定方法について

- 優秀活動表彰は、関東地方協議会が募集を行い、活動団体より各表彰部門へ応募されます。
- 応募のあった活動に対し、部門毎に定めた評価の視点に従い、風景街道の活動表彰に関する委員が評価・選定し、関東地方協議会で決定しています。

### 【表彰部門】

- ・ 地域活性化への寄与部門
- ・ 美しい国土景観の形成部門
- ・ 観光振興への寄与部門

### 【評価の視点】

#### 地域活性化への寄与部門

- ・ 活動に参加する住民（団体）・地域間交流（様々な団体との連携）を拡大する取組
- ・ 活動を継承・活性化する取組（世代間交流）
- ・ 新しい組織や活動団体が生まれるような取組
- ・ 他のルートの模範になるような取組（雇用創出も含め他団体も行ってみたいくなるような取組）
- ・ 埋もれた魅力を発掘するような取組

#### 美しい国土景観の形成部門

- ・ 花など植物により演出した取組
- ・ 看板等で工夫した取組
- ・ 統一感のある町並みのために工夫した取組
- ・ かくす工夫・見せる工夫をした取組
- ・ 規制・規則と共存する取組

#### 観光振興への寄与部門

- ・ 観光客増加への取組
- ・ 売上げ向上への取組
- ・ 参加者（団体）や出店数増加への取組
- ・ 独創性（この地域しかないもの）のある取組
- ・ 新たな付加価値をつける取組



# 平成27年度 日本風景街道 関東優秀活動賞

## 【地域活性化部門 優秀賞】

### 関東一第1号 浅間・白根・志賀さわやか街道

#### <地元高校と連携した合同植栽活動>

## 【高校生と連携、地域を自分たちできれいに彩る】

<p><b>■ルートの概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中心となる道路： 国道146号，国道292号ほか</li> <li>代表団体： 浅間・白根・志賀さわやか街道協議会 (代表者：市川保(孺恋村観光協会会長))</li> </ul>	<p><b>■位置図</b></p>
<p><b>■優秀活動の概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇群馬県立中之条高校の生徒が育てたサルビアの苗8,000本を、街道沿線の11箇所に一斉に植栽(街道沿線で活動している団体の約200名が参加)。</li> <li>◇植栽箇所や使用花苗の調達について関係町村、中之条高校と調整を実施。</li> <li>◇将来の地域活性化を担う高校生と、植栽活動を行っている地域の方々が協働することにより、人材育成、意識の醸成、活動の活性化につながることを狙いとして実施。</li> </ul>	<p><b>▼植栽活動の様子</b></p>
<p><b>■優秀活動賞の選定理由</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇3町村17団体(約200名)が一斉参加した大規模な植栽活動であり、地域住民の団結した姿勢が高く評価できる。</li> <li>◇また、地元高校の授業の一環で育てた花を植栽する等、若い世代も参画できる社会貢献活動の枠組みとなっている。</li> <li>◇継続的な取組みにより地域住民との交流機会の醸成が図られている点も、他のルートの模範となる取組みである。</li> </ul>	

# 平成27年度 日本風景街道 関東優秀活動賞

## 【地域活性化部門 優秀賞】

### 関東—第14号 東海道 風景街道

#### ＜武相宿場での通行手形の発行を活用した地域活性化＞

## 【東海道の風情を感じながら、昔ながらの通行手形で散策】

<p><b>■ルート概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心となる道路：国道1号ほか</li> <li>・代表団体：東海道 風景街道 (代表者：石川 清貴(神奈川県商店街連合会会長))</li> </ul>	<p><b>■位置図</b></p> 
<p><b>■優秀活動概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇横浜市内の旧宿場町（神奈川宿・保土ヶ谷宿・戸塚宿）から藤沢市内の旧宿場町（藤沢宿）までの東海道の道筋をゆっくり歩いて楽しんでもらうことを目的に通行手形を作成。</li> <li>◇沿道の協力店と連携した「地元や東海道や宿場などの昔話」、「飲食等の割引サービス」を実施。</li> <li>◇「旧東海道藤沢宿まちそだて隊」と連携して武相宿場まつり実行委員会を設置し、通行手形の企画作成及び東海道沿道の商店等に通行手形の協力店としての参加の調整を実施。</li> </ul>	<p><b>▼保土ヶ谷宿場まつりの状況写真</b></p> 
<p><b>▼武相宿場通行手形パンフレット</b></p> 	<p><b>■優秀活動賞の選定理由</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇江戸時代の“通行手形”の作成や、東海道・宿場の“昔話”を提供するなど、来訪者がルートの歴史を共感しやすいようにうまく工夫されており、他のルートの模範となる取り組みである。</li> <li>◇沿道の20店舗以上が飲食の割引サービス等に協力しており、地元が連携しながら地域活性化に取り組んでいる姿勢が高く評価できる。</li> <li>◇これまでの実績（横浜三宿と藤沢宿との連携）に加え、その他の宿場町との連携も視野に入れるなど、今後の更なる活動の活性化が期待される。</li> </ul>



# 平成27年度 日本風景街道 関東優秀活動賞

## 【美しい国土景観の形成部門 優秀賞】

### 関東一第12号 南房総・花海（はなうみ）街道

#### <日本の道百選 房総フラワーラインの植栽活動>

## 【イベントに合わせた植栽で来訪者を歓迎】

<p><b>■ルート概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心となる道路： 国道127号、国道410号、国道128号ほか</li> <li>・代表団体： 南房総・花海街道パートナーシップ (代表者：金丸 謙一(館山市長))</li> </ul>	<p><b>■位置図</b></p> 
<p><b>■優秀活動概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇館山若潮マラソンの開催時期に満開を迎えるようにフラワーラインの延長約8km、5,300㎡の範囲に菜の花の植栽を実施。</li> <li>◇官民連携した作業により、開花期間、植栽間隔を調整した維持管理の強化に成功。</li> <li>◇花のまち館山として観光客を迎えられるよう季節毎にフラワーラインでの植栽内容を同じにすることで、観光客に花の印象の意識付け。</li> </ul>	
<p>▼フラワーライン 菜の花の様子</p> 	<p>▼フラワーライン ノースポールの様子</p> 
<p><b>■優秀活動賞の選定理由</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「館山若潮マラソン」のランナーをコース上の満開の菜の花で迎えられよう植栽する等、来訪者に好印象を与える活動を行っている。</li> <li>◇また、植栽間隔への気配りや見頃を終えた花を撤去するなど細やかな配慮により、美しい景観を維持している点が評価できる。</li> <li>◇「花のまち館山」のイメージアップに向け、年間を通して花を咲かせる努力が感じられ、他のルートの模範となる取組みである。</li> </ul>	

平成27年度 日本風景街道 関東優秀活動賞

【観光振興への寄与部門 優秀賞】

関東一第2号 千曲川・花の里山風景街道

＜道の駅を活用した自転車環境整備による地域活性化＞

【サイクリストにやさしい空間で お・も・て・な・し】

<p>■ルートの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心となる道路：国道117号ほか</li> <li>・代表団体：NPO法人信越トレイルクラブ（代表者：小山 邦武）</li> </ul>	<p>■位置図</p> 
<p>■優秀活動の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇道の駅・新幹線駅をはじめとする拠点4施設でレンタサイクル事業を行い、道の駅、新幹線駅間の回遊性が高まることで拠点施設への立ち寄り利用や、市街地での立ち寄りが増加。</li> <li>◇健脚なサイクリストのみならず幅広い旅行者にも対応できるサイクル地域を目指し、親子で楽しめるコース、寺巡りや伝統工芸体験と組み合わせた散走体験会を開催。</li> <li>◇信越9市町村広域観光連携会議（信越自然郷）の枠組みで、5か年計画でサイクルステーション100ヶ所を認定し、共通サイクルスタンドの設置、表紙サインの設置、サービスの提供を実施。</li> </ul>	
<p>▼レンタサイクル事業の様子</p> 	<p>▼散走体験会の様子</p> 
<p>■優秀活動賞の選定理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇レンタサイクルの活用により北陸新幹線飯山駅（H27年3月開業）と3つの道の駅（観光拠点）との連携を高めた観光振興策は特に評価できる。</li> <li>◇また、幅広い旅行者増を狙った「散走体験会」を行うなど、自分たちの地域の魅力をしっかりと認識し最大限活用した活動を展開している点は、他ルートの模範となる取組みといえる。</li> <li>◇信越9市町村広域観光連携会議の枠組みで5か年計画を作成し、継続した取組みへの意欲がうかがえ、今後の更なる活動の活性化が期待される。</li> </ul>	